

都県活動支援 参加報告書

参加活動名	そのアセスメントで大丈夫？術中看護のアセスメント能力を高めるヒント
開催日時	2026年2月14日（土） 13時～17時
会場	足利赤十字病院 手術室
内容	<p>参加者：30名、認定看護師10名 方法：講義とグループワーク 協賛：ホギメディカル、MCメディカル（計2社） タイムスケジュール</p> <p>10：30～ 役員集合 会場設営、準備 11：00～ 手術室見学（希望者25名） 昼食 12：30～ 受付開始 13：00～13：10 オリエンテーション 13：10～15：00 講義・グループワーク （講師：とちぎメディカルセンターしもつが 認定看護師 松嶋幸彦氏） 15：00～15：20 休憩・企業紹介 15：20～16：00 グループワーク 16：00～16：30 まとめ・発表 16：30～16：40 総括・アンケート記入（QRコード）</p> <p>アイスブレイク（犯人探しゲーム）をした後、ゴードンの看護過程の展開をもとに独自で作成したアセスメントシートを用いて5～6名のグループに分かれグループワークを実施した。ファシリテーターとして認定看護師が各グループワークに入り、多角的な視点でアセスメントができるよう支援した。その後、認定看護師からの講義を聞き、問題思考型ではなく「患者さんの強みや健康問題を説明するために必要な事実情報を入手し分析する」「継続看護」を意識したアセスメントへとブラッシュアップした。最後に講義・グループワークでの学びを共有した。</p>

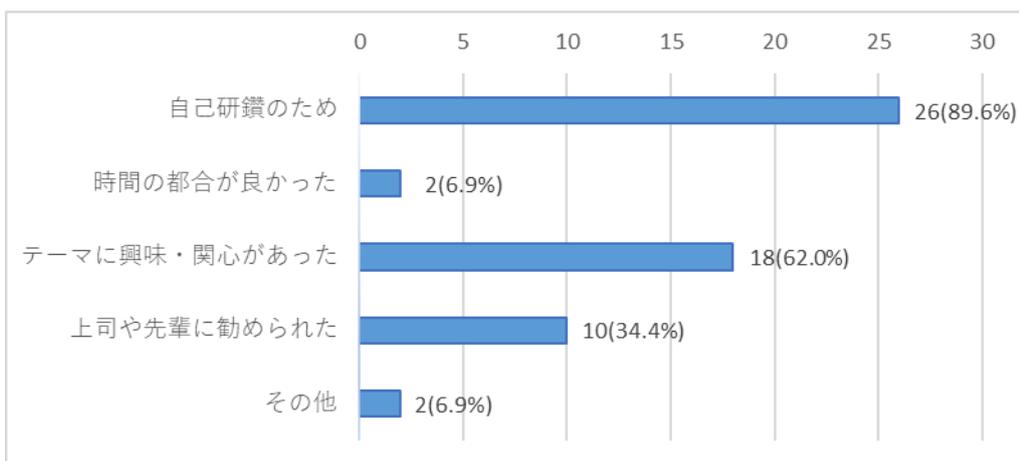
第33回 とちぎ手術看護情報交換会 アンケート結果

1. アンケート回答率

回答率 96% (30名中29名)



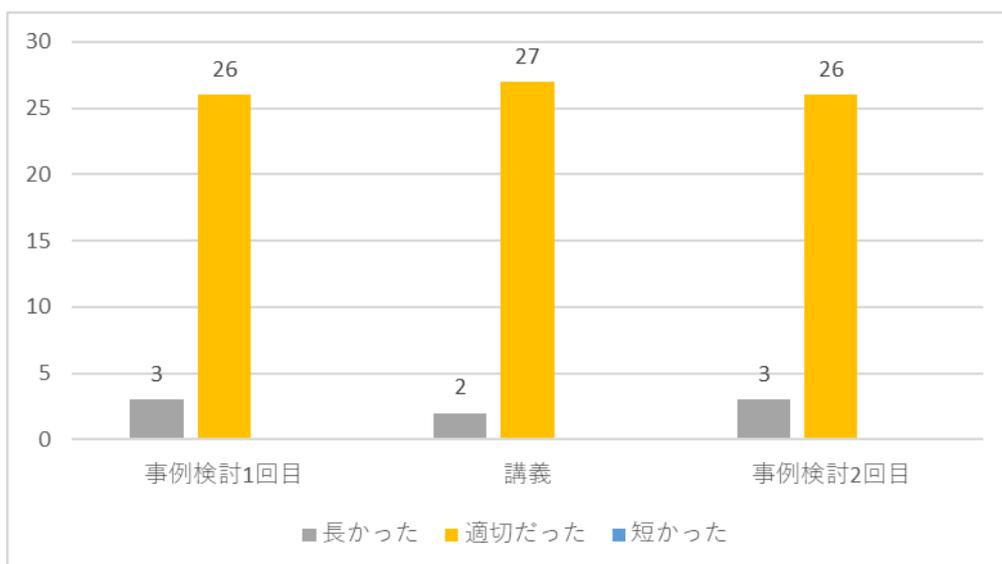
2. 今回参加した理由は何ですか。(複数回答可)



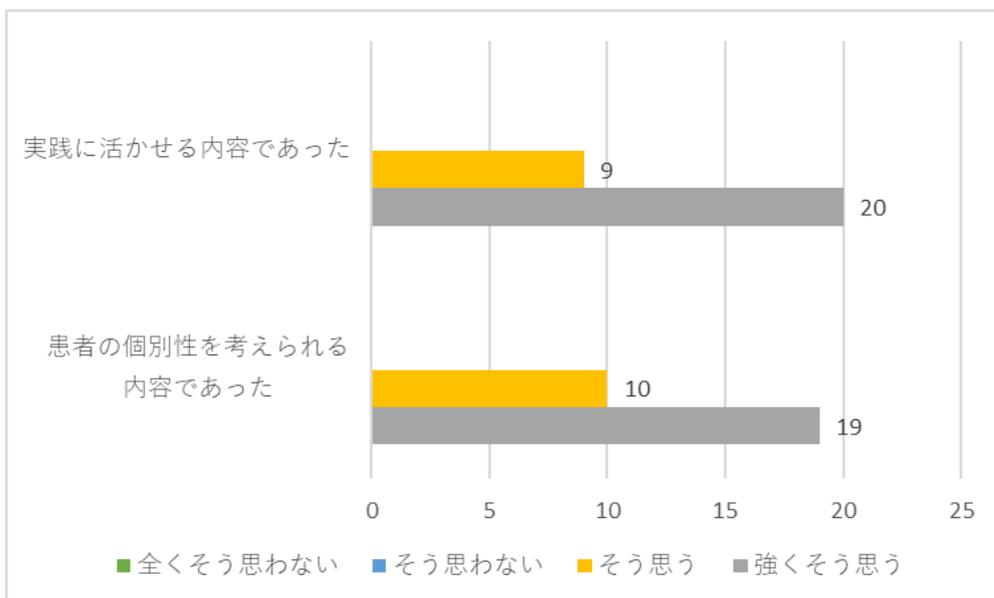
その他

- ・アセスメントできるオペナースを目指したかったから
- ・来年度プリセプターになるので、指導をしっかりとできるようにするため

3. 時間配分について



4. 事例検討について

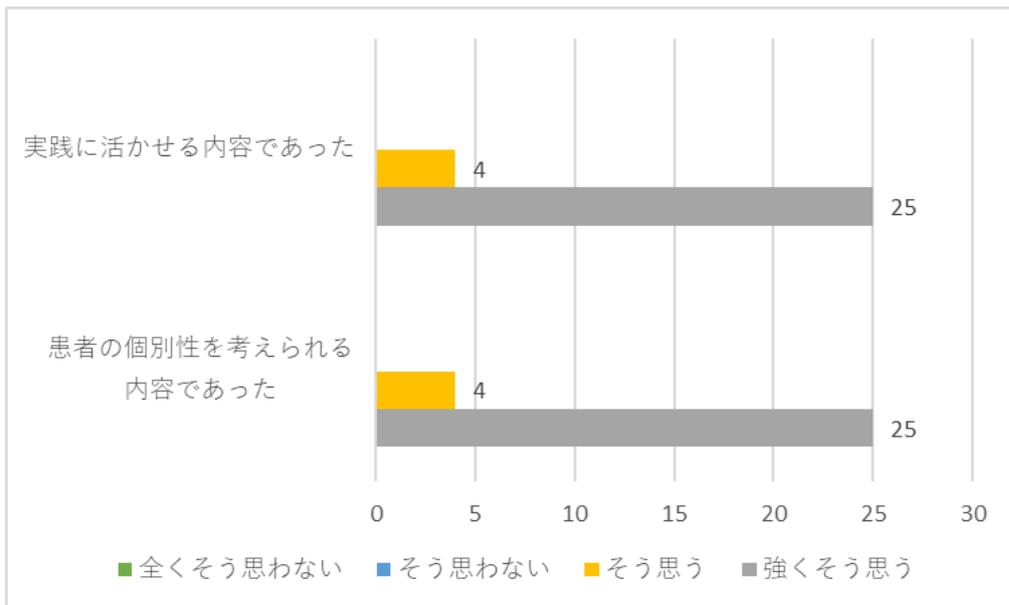


5. 「強くそう思う」「そう思う」を選択した方は、具体的にどのような部分でそう感じましたか。また「そう思わない」「全くそう思わない」を選択した方は、その理由をお書きください。

- ・今までは、リスクについてマイナスなことばかり問題に挙げていたが、これからは患者の強みも考えてアセスメントしていきたい。
- ・情報から関連させてアセスメントに繋げていくことが大切であると感じた。
- ・他者の意見を聞く機会にもなり、自分のアセスメント能力の向上にも繋がる内容であったため。
- ・強みを考えて行く点
- ・情報を全て記すのではなく、自分の中で患者の強みを考えつつ、問題であることはハッキリとしている事例だと考えられました。
- ・日々の業務で考える機会が少なくっているため、チームで深くアセスメントできるいい研修ができた。
- ・ゴードンを使用しグループワークを通してアセスメントできたため。
- ・通常の業務ではパターン別にアセスメントをする時間がなかったので、とても良い機会になった。
- ・高齢者の患者が増えており、まだ、既往があるけど認識が薄い患者も多くなっているため。
- ・患者さん個人だけでなく患者さんの家族であったり、患者さんのバックグラウンドが具体的でよく考える事例だと思いました。また、実際の患者さんの状態にも近しい内容であったり、数値など多角的な視点でアセスメントしていく内容だと感じました。
- ・患者情報量が適量であり、患者像が想像しやすかった。
- ・データなどの客観的情報だけでなく、患者のバックボーンや退院後の希望などが載せられていたため、術中だけでなく退院後のことを踏まえた個別性のある看護展開について考えることが出来たため。

- ・患者さんの現在だけではなく過去や未来のことも考えて予測することが大切だと思いましたが。
- ・今の自分で考えるアセスメントをしてから、資料で肉付けしていくことで不安だった気持ちに少し自信もついて、やってみよう！と思えるようになったから。
- ・暗黙知 形式知と初めて学習できました また個人として良い看護師になるのは良いがそれは患者の為なのか?とかんがえさせられました。
- ・日々何気なく行っていた業務であったが、患者に関わる様々な情報が、患者の個性に活かせる重要なものであると再認識した。
- ・健康のプラス面へのアプローチ今まであまり考えていなかったことだが、とても大切と思った。申し送りのポイント使います。
- ・他の方のアセスメントに対する考え方を知り、新たな発見ができたため。
- ・患者背景が実際に似た環境の患者さんが多いため。
- ・患者背景を考慮してその方の強みを生かせる知識を学べたから。
- ・アセスメントを深く考える必要があると学べたから。
- ・1つの事例でじっくりと看護展開をすることで考える力や関連付けることができた。
- ・グループすることで自分では気づけない視点に気づけたり、アウトプットする機会となった。また、アセスメントに対しての苦手意識があり進まないこともあったため、これを機会に少しでも患者への安全な継続看護へ繋がれたらいいなと思った。
- ・高齢患者の手術が増えているため。
- ・当院では腹臥位の手術が無いので、対応や考え方が中々繋がらなかった。しかし、患者像を考え周手術期に繋げるための意見を交換出来、考え方を学ぶことができた。
- ・対象者の強みを見出すために適切であったと思う。
- ・高齢化社会の中で、実際 70~80 歳代の患者の腹臥位手術が多くなっている。また、現疾患以外の疾患がなく、元気な高齢の患者も多い中で、事例の選択はとても興味があった。
- ・どこの部分が強みで、それが術後どう活かせるか、グループワーク、講義を通して深められたと思います。
- ・自分では気づけない学び・視点が多く、多方面からアセスメントを行うことができた。また、毎日の業務に追われ深くアセスメントが出来ないため、とても学びになった。知識不足を感じ、とても勉強になった。





7. 「強くそう思う」「そう思う」を選択した方は、具体的にどのような部分でそう感じましたか。また「そう思わない」「全くそう思わない」を選択した方は、その理由をお書きください。

- ・勉強になりました。
- ・患者の強みを活かして周術期の看護に繋げていくことが大切であると実感できた。
- ・具体的な内容も多く盛り込まれていたため、すぐに活かそうと思った。
チューターの方がよくまとめてくださった。
- ・講義から、自分自身の申し送りや足りない部分が浮き彫りになったため、次回より試しつつより良いものへ昇華させることができると思いました。
- ・業務に追われるあまり、使っていた「特に問題ありません」は禁句にしていく。
- ・新たな気づき、学びが得られたため。
- ・患者さんに寄り添った内容で、周術期看護の重要性を理解することができた。
- ・強みをポイントに考えていこうと思った。送りで特に問題なかったですと送っていたので…封印していこうと思いました。
- ・具体例を基にした講義であった事やどう改善したら、どう伝えれば良いのかなど実践に活かす事や日頃の学びの中で活かせるものであったと感じました。
- ・アセスメントに対し新たな知識が学べた。
- ・世話人の方々の叡智が詰まったとても貴重なアセスメント資料をいただいたことに感動しました。一生大切に保管し、今後も活用させていただきます。
- ・グループワークをすることで他の人の考えや意見を聞くことができ、色々な視点から知識を貰うことができとても良い学びになりました。
- ・できない自分も、ここからできるようにしていけばいいんだと思えた。アセスメントをやっていきたいと思う気持ちの後押しをしてもらえる様な内容だったから。
- ・形式知 患者の持つ強みの強化
- ・スライドが非常に分かりやすかった。患者のアセスメントに必要な情報のヒントもあり、

アセスメントを深いところまで考えることが出来るような講義になっていた。

- ・資料がとても見易い 講義内容が興味をそそりうけやすかった。
- ・アセスメントを高める方法など具体的に教えてくださり、次の業務からすぐに実践に移しやすいと感じたため。
- ・事例を使いわかりやすかった。
- ・すごく分かりやすかった。
- ・暗黙知と形式知を活かしていこうと思った。
- ・知らなかったこともたくさん学べたため。
- ・特に病棟との申し送りに関して「私も特に何も無かったです」は禁句にしたいと思いました。
- ・自分の看護に結びつけて聞くことができた。
- ・分かりやすい内容でした。今回の学びをどのように活かすべきかも教えてもらい、自施設でも活かせるようにしたいと思いました。
- ・今までの看護は問題思考型であったと思います。今回の講義を受けて対象者の強みを活かして考えていきたいと思います。また、手術後の申し送りで些細なことでも病棟に申し送りができるように心掛けたいと思います。
- ・自分の分析をグループで共有する事により学びが深まるため。
- ・実際の事例をもとに継続看護に必要な気づき、申し送りの仕方など、今後実践していこうと思う内容が多いと思いました。
- ・今まで問題思考型でのアセスメントをおこなってきた。健康のプラス面へのアプローチ、患者の強みをアセスメントすることで、継続看護、早期回復、早期退院へ繋がられることを学んだ。

8. 今回の研修会について、ご意見・ご感想をお願いします。

- ・これからもアセスメントの気づきを大切にして考えて行動していきたい。
- ・アセスメントの重要性を実感することができたので、今後活かしていきたいと思いました。
- ・まだまだ勉強しなければならないと感じました。ありがとうございました。
- ・ためになりました
- ・自分自身の看護知識のみならず、申し送りなどの言語化技術も学べることができました。ありがとうございました。
- ・アセスメントの学びを深めることができた。
- ・術中アセスメントではなく、継続看護として病棟に申し送る際のひとことが予測した看護だと考えさせられた。講義ありがとうございました。
- ・いつもながら松嶋さんの講義は本当に素敵で、興味深い内容です。また機会があれば参加したいと思います。
- ・とても学びが多い研修でした。 今後活かしていきたいです。
- ・このような他病院との交換会を通じてた事で、どんな視点を持って今後の業務に活かしていけば良いのか、講義やグループワークを通して感じました。また、更に看護を追求していきたいと強く思い、感じられました。 特別な機会を作っていただきありがとうございます。
- ・アセスメント内容を言語化しグループワークで意見を出し合うことで、いろいろな考えがあり

大変勉強になった。また、今まで、リスクばかりに囚われていたが強みをアセスメントし周術期看護に活かすことが大切であると学んだ。病棟への申し送りなど、さっそく取り入れていきたいと思う。

- ・ 1000 円は安すぎるほどに大変貴重な講義でした！次回も絶対参加します。
- ・ 他の施設の取り組みや情報を知ることができて良かったです。
- ・ 素晴らしい資料で保存版です。 またアセスメントを頑張っってやっていこうと思いました！ありがとうございました！
- ・ 次回も是非参加をしたいです
- ・ 他施設のスタッフと意見交換などをする時間が少しあると嬉しいです。自施設で抱えている課題を、他の病院ではどのように対応しているのかなどが、知れる機会があると良かったです。
- ・ 月曜日から実践していけそうな事がたくさんあり学びになりました
- ・ 他の手術室看護師さんと交流し、他病院での対応方法なども知ることができとても有意義でした。また、参加したいと思います。
- ・ 資料も講義もとても分かりやすかったです。また機会があったら参加したいと思いました。
- ・ わかりやすかった
- ・ 他施設の人の意見も聞くことができとてもいい勉強になった
- ・ アセスメントに対しての苦手意識はあった。しかし面白い講義だったため、楽しく学びになったのでとてもありがたかった。
- ・ 勉強になりました
- ・ 他施設の方と色々な意見交換できてとても実りのある時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・ 応用編などがあつたらぜひ参加してみたいです。
- ・ とても貴重な講義でした。今後の看護に活かしていきたい。
- ・ 次の情報交換会も機会があれば参加したいです。
- ・ 多くの視点に気づくことができ、この資料を参考し勉強していきたい。また、術中の看護に繋げていきたい。

9. とちぎ手術看護情報交換会の今後の活動内容についてお伺い致します。

今後どのようなテーマをご希望されますか。

- ・ 術後訪問
- ・ 手術麻酔について/術中体位について(特殊体位など)
- ・ 器械だしについて
- ・ 看護記録
- ・ 手術看護師における教育のすすめ
- ・ 他施設が術後訪問をどのようにやっているか情報共有したい
- ・ 後輩指導
- ・ 継続看護
- ・ 新人教育について

- ・ アセスメントを実技も踏まえて行う事で更に学びに繋がるような内容があると良いと思いました。
- ・ 貴重な他施設との意見交換な場ともなるので、ありがたいです。
- ・ 麻酔看護について
- ・ 器械出しの面での情報交換もできたらよいなとおもいます
- ・ アセスメントについての研修
- ・ 記録の形態
- ・ 麻酔看護についてより深く学びたい
- ・ 希望はありません また参加したいです
- ・ 機械出しや外回りの視点での看護の工夫も知りたい。
- ・ 清掃の仕方、滅菌物の消毒、期限、管理
- ・ 麻酔について
- ・ 希望なし
- ・ 特にありません
- ・ 急変対応 手術室での倫理 感染対策
- ・ アセスメントをもう少し簡単に学びたい
- ・ またフィジカルアセスメントはやっていただきたい。とても勉強になったので、他のスタッフにも受けて欲しいので。
- ・ 術中モニタリング、器械出し

